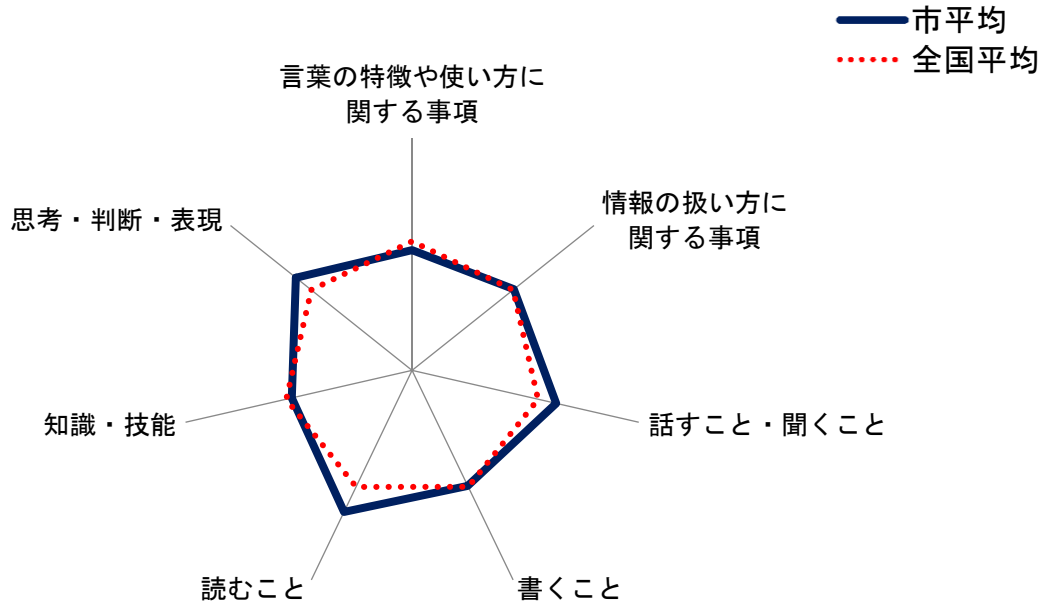
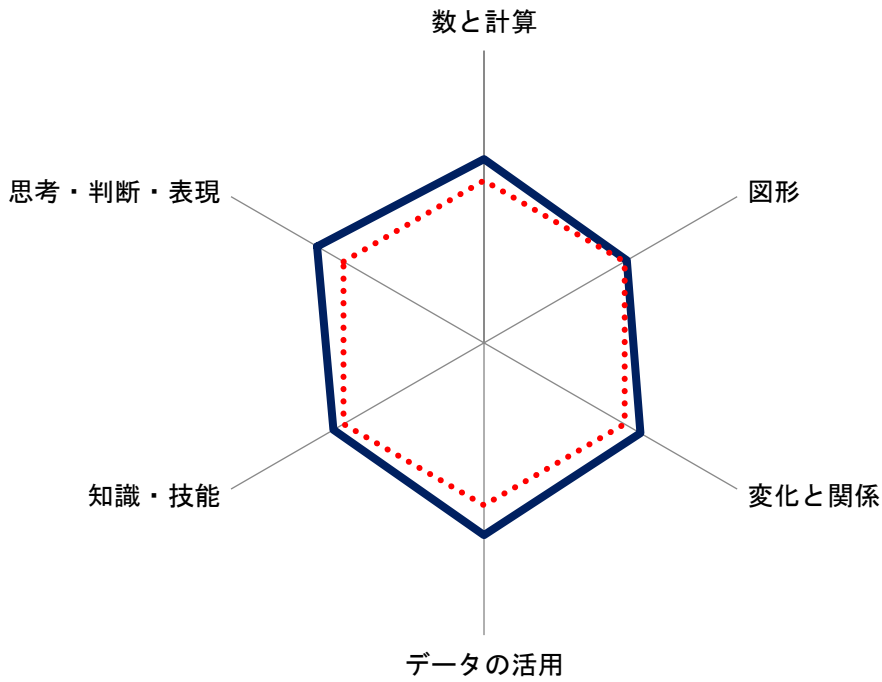


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

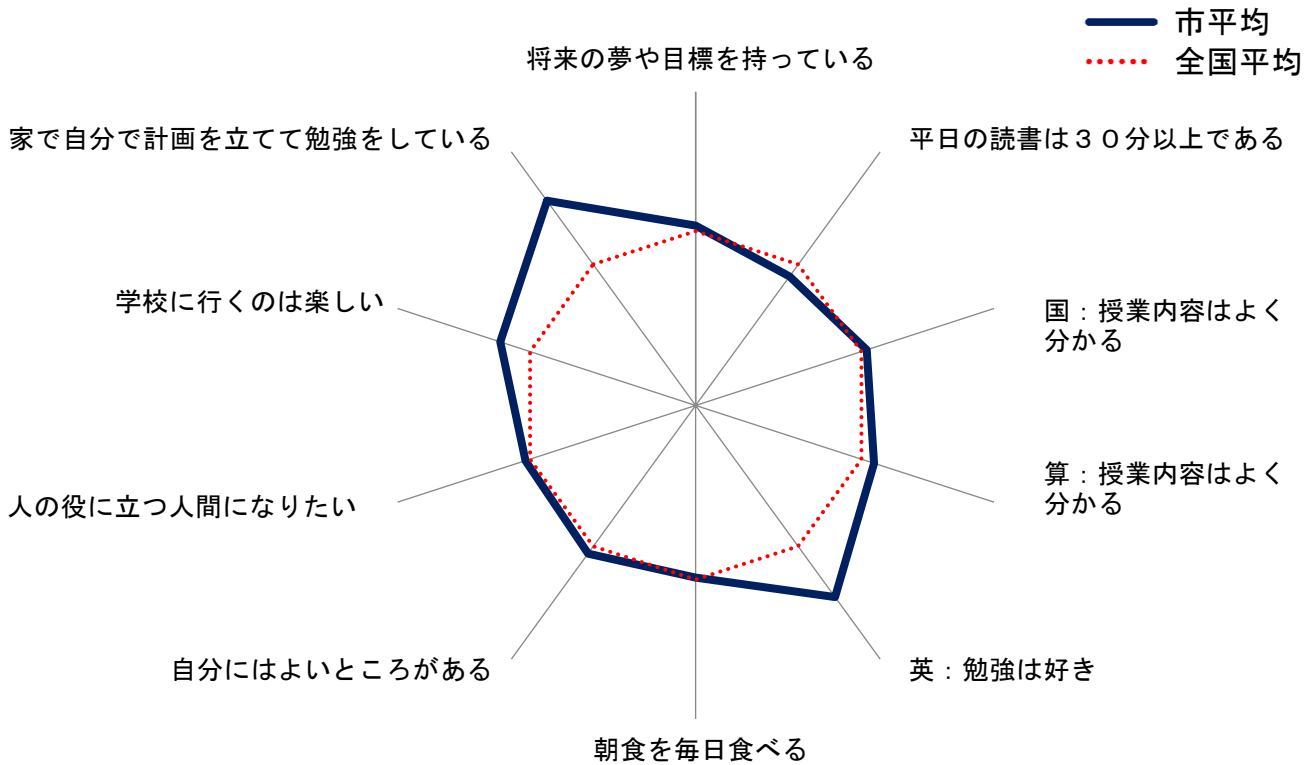
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、算数の全ての項目が全国平均を上回っており、良好な結果である。一方、国語の「話すこと・聞くこと」「読むこと」の項目が全国平均を大きく上回っているものの、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の項目が全国平均を下回っており、課題が見られる。今後、学力のより一層の定着と向上に向けて、県、市、学校が一体となって、基礎的な知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が引き続き望まれる。

児童質問紙調査では、取り上げているほとんどの項目が全国平均を上回っている。特に、前回調査で課題となっていた「家で自分で計画を立てて勉強をしている」の項目が大幅に改善されており、市独自の「家庭学習の手引き」等の活用で、主体的に学習に取り組む態度を育成する教育活動が推進されている成果がうかがえる。一方、「平日の読書は30分以上である」の項目が引き続き全国平均を下回っている。今後は、学力向上の基盤となる読書習慣の確立に向け、読書活動のより一層の充実に向けた取組を推進することが望まれる。